

令和5年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		7-	1
事業名	環境衛生経費	会計	款	項	目
		一般	4	1	4
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	みらい環境課		
施策	9-5 環境衛生対策の推進	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	環境保全活動や環境美化活動にかかる広報・啓発を推進し、環境保全意識の高揚を図る。
事業内容	環境保全活動や環境美化活動にかかる広報・啓発を推進し、環境保全意識の高揚を図る。町内における環境測定結果の報告及び「桑名・員弁広域環境基本計画」の内容を協議するため、東員町環境審議会を開催する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)	
	1	環境活動団体数	47	47	46	団体	↑	50	
2	公共施設のCO <sub>2</sub> 排出量	2,736	2,436	2,392	t-CO <sub>2</sub> /年	↓	2,457		
3									
4									
5									
			令和4年度(決算)		令和5年度(決算)		令和6年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B			3,868		304		4,720		
財源内訳	直接事業費 A		304		304		874		
	うち一般財源		0		304		874		
人件費(千円) B			3,564				3,846		
内訳	一般職員(人・千円)		0.54	3564	0.54	3564	0.58	3828	
	臨時職員(人・千円)			0	0	0	0.01	18	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続(事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	「ゼロカーボン実現計画」策定後の専門部会存続の可否について検討する。	③取組の課題	特になし
②R5年度に実施した取り組み	特になし	④今後の改善計画	今後の環境審議会委員について要検討。専門部会にて参画いただいた企業委員に継続いただきたい。

# 実施計画書

事務事業No.	7-1												
事業名	環境衛生経費												
<b>事業実施計画（議会説明等も含め手順・工程を記載）</b>													
<b>R6</b>	事業費(千円)	<b>874</b>	内訳	国補助		県補助		地方債		その他		一般財源	<b>874</b>
<p>環境保全活動や環境美化活動にかかる広報・啓発等の事業</p> <p>・ 経常経費【874千円】          内訳（主なもの） 報酬（234千円）委員報酬          旅費（9千円）費用弁償          需用費（378千円）一般消耗品、燃料費、修繕料等          役務費（49千円）手数料、保険料等          負担金（197千円）桑名・員弁広域連合負担金          公課費（7千円）公用車重量税等</p>													
<b>R7</b>	事業費(千円)	<b>2,511</b>	内訳	国補助		県補助		地方債		その他		一般財源	<b>2,511</b>
<p>環境保全活動や環境美化活動にかかる広報・啓発等の事業</p> <p>・ 軽トラック購入費 【1,800千円】          ・ 経常経費【711千円】          内訳（主なもの） 報酬（76千円）委員報酬          旅費（9千円）費用弁償          需用費（378千円）一般消耗品、燃料費、修繕料等          役務費（49千円）手数料、保険料等          負担金（197千円）桑名・員弁広域連合負担金          公課費（7千円）公用車重量税等</p>													
<b>R8</b>	事業費(千円)	<b>711</b>	内訳	国補助		県補助		地方債		その他		一般財源	<b>711</b>
<p>環境保全活動や環境美化活動にかかる広報・啓発等の事業</p> <p>・ 経常経費【711千円】          内訳（主なもの） 報酬（76千円）委員報酬          旅費（9千円）費用弁償          需用費（378千円）一般消耗品、燃料費、修繕料等          役務費（49千円）手数料、保険料等          負担金（197千円）桑名・員弁広域連合負担金          公課費（7千円）公用車重量税等</p>													
<b>R9</b>	事業費(千円)	<b>711</b>	内訳	国補助		県補助		地方債		その他		一般財源	<b>711</b>
<p>環境保全活動や環境美化活動にかかる広報・啓発等の事業</p> <p>・ 経常経費【711千円】          内訳（主なもの） 報酬（76千円）委員報酬          旅費（9千円）費用弁償          需用費（378千円）一般消耗品、燃料費、修繕料等          役務費（49千円）手数料、保険料等          負担金（197千円）桑名・員弁広域連合負担金          公課費（7千円）公用車重量税等</p>													

令和5年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.		7-	2
事業名	狂犬病予防対策経費	会計 一般	款 4
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	項 1	目 4
施策	9-5 環境衛生対策の推進	課名	みらい環境課
		係名	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	犬の飼い主	目的 (対象がどのような状態になっているか)	狂犬病の発生及び蔓延を防止するため、畜犬登録を行い予防接種率の向上を図り、環境被害のない健全な生活環境を作る。
事業内容	狂犬病予防法により、狂犬病の発生及び蔓延を防止するため、犬の飼い主に義務付けられた犬の登録と予防接種率の向上を図り、注射済票の交付を行ない、環境被害のない健全な生活環境を作る。また、畜犬所有者の転出入者の取り扱い、各市町村・保健所からの照会への対応、原簿登録の管理を行っている。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)	
	1	狂犬病予防注射接種率	89	88	83	%	↑	96
2								
3								
4								
5								
		令和4年度 (決算)		令和5年度 (決算)		令和6年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B		4,591		4,489		3,282		
財源内訳	直接事業費 A	961		859		852		
	うち一般財源	0		0		0		
人件費 (千円) B		3,630		3,630		2,430		
内訳	一般職員 (人・千円)	0.55	3630	0.55	3630	0.3	1980	
	臨時職員 (人・千円)		0	0	0	0.25	450	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	B削減の余地がややある
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	マイクロチップ義務化への対応は三重県下市町の動向を見極め効率的な運用を図る。TNR事業は三重県でも実施しており、町事業との相違点を整理し改善を検討。飼い犬猫の避妊去勢補助は補助金等見直し調書ではR5リフォームとなっている。効果や近隣市町の状況等整理し、存廃含め事業検討する。	③取組の課題	R4.6.1よりペットショップ等で販売する犬猫へのマイクロチップ装着が義務化されているが、他市町との連携体制が整っておらず、登録システムの整備も未了。
②R5年度に実施した取り組み	飼い犬猫の避妊去勢補助を、R5年度で廃止。	④今後の改善計画	マイクロチップ義務化への対応は三重県下市町の動向を見極め効率的な運用を図る。TNR事業は実施方法等について改善を検討。



令和5年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		7-	3
事業名	低炭素・循環型社会形成事業	会計	款	項	目
		一般	4	1	5
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	みらい環境課		
施策	9-4 低炭素・循環型社会の形成	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	地球温暖化対策に向けたCo2排出量削減など脱炭素循環型社会活動への意識高揚を図る。
事業内容	脱炭素循環型社会形成に向けた事業を展開する。 太陽光発電設備等に補助金を交付する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)	
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
			令和4年度(決算)		令和5年度(決算)		令和6年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B					5,729		15,432	5,784	
財源内訳	直接事業費 A				2,561		11,142	2,466	
	うち一般財源				2,561		2,458	209	
人件費(千円) B					3,168		4,290	3,318	
内訳	一般職員(人・千円)		0.48		3168	0.65	4290	0.5	3300
	臨時職員(人・千円)		0		0	0	0	0.01	18

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 (事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	脱炭素循環型社会形成のため実効性のある体制づくりや検証方法を確立する。	③取組の課題	脱炭素循環型社会形成の必要性をもっと広くの職員や住民、企業が認識すること。
②R5年度に実施した取り組み	東員町ゼロカーボン実現計画を策定。省エネ家電補助金事業の実施。太陽光発電設備等設置補助事業の実施。	④今後の改善計画	町内中小企業向けの事業実施を検討する。省エネ・創エネ施設の導入・補助を実施する。

# 実施計画書

事務事業No.	7-3												
事業名	脱炭素循環型社会形成事業												
<b>事業実施計画（議会説明等も含め手順・工程を記載）</b>													
<b>R6</b>	事業費(千円)	2,466	内訳	国補助		県補助	2,257	地方債		その他		一般財源	209
地球温暖化対策、ゼロカーボン実現計画等に関する事業 ・太陽光発電設備等設置費補助金交付事業【2,257千円】  ・経常経費【209千円】 内訳（主なもの） 旅費（109千円） 需用費（88千円）消耗品など 役務費（12千円）													
<b>R7</b>	事業費(千円)	11,953	内訳	国補助	7,500	県補助	1,744	地方債		その他		一般財源	2,709
地球温暖化対策、ゼロカーボン実現計画等に関する事業 ・太陽光発電設備等設置費補助金交付事業【1,744千円】 ・公共施設等への太陽光発電設備等の導入調査支援【10,000千円】 ※環境省から3/4の補助あり ・経常経費【209千円】 内訳（主なもの） 旅費（109千円） 需用費（88千円）消耗品など 役務費（12千円）													
<b>R8</b>	事業費(千円)	1,953	内訳	国補助		県補助	1,744	地方債		その他		一般財源	209
地球温暖化対策、ゼロカーボン実現計画等に関する事業 ・太陽光発電設備等設置費補助金交付事業【1,744千円】  ・経常経費【209千円】 内訳（主なもの） 旅費（109千円） 需用費（88千円）消耗品など 役務費（12千円）													
<b>R9</b>	事業費(千円)	1,953	内訳	国補助		県補助	1,744	地方債		その他		一般財源	209
地球温暖化対策、ゼロカーボン実現計画等に関する事業 ・太陽光発電設備等設置費補助金交付事業【1,744千円】  ・経常経費【209千円】 内訳（主なもの） 旅費（109千円） 需用費（88千円）消耗品など 役務費（12千円）													

令和5年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		7-	4
事業名	公害対策経費	会計	款	項	目
		一般	4	1	5
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	みらい環境課		
施策	9-5 環境衛生対策の推進	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	環境保全活動にかかる広報・啓発を推進し、環境保全意識の高揚を図る。
事業内容	環境保全活動にかかる広報・啓発を推進し、環境保全意識の高揚を図る。 公害等環境問題への対応として、水質汚濁をはじめ、騒音、悪臭、振動などの公害に対する監視・指導を推進し、未然防止及び適切な対応を図るため、環境基本法令等により、町内における水質検査等の環境測定を定期的実施する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)
	1	環境測定値の基準値内率	89	96	96	%	↑	92
2								
3								
4								
5								
			令和4年度(決算)		令和5年度(決算)		令和6年度(予算)	
全体事業費(千円) A+B			7,271		7,550		8,595	
財源内訳	直接事業費 A		4,631		4,910		6,063	
	うち一般財源		4,631		4,910		6,063	
人件費(千円) B			2,640		2,640		2,532	
内訳	一般職員(人・千円)		0.4	2640	0.4	2640	0.37	2442
	臨時職員(人・千円)			0	0	0	0.05	90

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	C対象が広すぎる
					コストの削減	B削減の余地がややある
総合評価	Ⅲ 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	調査研究し、現調査地点数等が妥当であるのか検討する。(本シートの目的が適正かの検証も必要)	③取組の課題	他市町の調査状況と比較すると、本町の調査地点数等が過剰である可能性がある。
②R5年度に実施した取り組み	複数の契約を一つにまとめ、経費削減を図った。	④今後の改善計画	調査項目や頻度について環境審議会に諮り、最も効率的な調査を目指す。



令和5年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		7-	5
事業名	斎苑管理運営経費	会計 一般	款 4	項 1	目 6
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	みらい環境課		
施策	9-5 環境衛生対策の推進	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	利用者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	施設の安定した稼働とサービス提供ができています。
事業内容	施設の安定した稼働と利用者サービスを行う。 東員町斎苑は昭和61年に竣工し、35年以上が経過した。東員町斎苑中長期整備計画及び東員町斎苑個別施設計画のもと、計画的な修繕と改修を行い施設の長寿命化を図る。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)
	1	葬祭場・斎苑に対する満足度	96	100	98	%	↑
2							
3							
4							
5							
		令和4年度(決算)		令和5年度(決算)	令和6年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B		270,354		24,503	63,072		
財源 内訳	直接事業費 A	267,846		21,995	59,790		
	うち一般財源	36,585		12,765	16,177		
人件費(千円) B		2,508		2,508	3,282		
内訳	一般職員(人・千円)	0.38	2508	0.38	2508	0.47	3102
	臨時職員(人・千円)	0	0	0	0	0.1	180

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続(事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	平成28年度に策定した、斎苑中長期整備計画及び斎苑個別施設計画に基づき、計画的に改修していく。	③取組の課題	特になし
②R5年度に実施した取り組み	空調設備改修工事の設計を実施した。斎苑加圧ポンプの維持管理を、一括でみらい環境課が担うこととした。	④今後の改善計画	空調設備改修工事を実施する。その後も、斎苑中長期整備計画及び斎苑個別施設計画に基づき、計画的に改修していく。



令和5年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		7-	6
事業名	墓地公園管理運営経費	会計	款	項	目
		一般	4	1	7
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	みらい環境課		
施策	9-5 環境衛生対策の推進	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	墓地公園利用者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	やすらぎのあるより良い環境づくりを進め、墓地公園利用者が気持ちよく過ごせるよう計画的な維持管理を行う。
事業内容	やすらぎのあるより良い環境づくりを進め、墓地公園が気持ちよく利用できるよう、使用者からの管理料を財源として、適正な維持管理を行う。 また、使用者から返還された区画(空き区画)については、随時募集を行い、新たな使用者を決める。 墓地公園の適正な管理に必要な財源を確保する。 墓地公園利用者から納付される管理料を基金として積み立て、墓地公園管理運営経費の財源とする。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)	
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
			令和4年度(決算)		令和5年度(決算)		令和6年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B			20,827		8,828		8,191		
財源内訳	直接事業費 A		17,395		6,188		6,271		
	うち一般財源		1,963		2,968		3,239		
人件費(千円) B			3,432		2,640		1,920		
内訳	一般職員(人・千円)		0.52	3432	0.4	2640	0.25	1650	
	臨時職員(人・千円)		0	0	0	0	0.15	270	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	C民間企業やNPOで担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	V 民間・NPO(民間企業やNPO、自治会などで代替可能である)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	損益分岐点を明確にし、必要に応じて管理費等を縮減する。	③取組の課題	墓地公園は使用者の使用料で管理運営されており、このまま空き区画が増加する一方では管理運営費が捻出できなくなる可能性がある。
②R5年度に実施した取り組み	利用者の要望に応え、階段に手すりを設置した。	④今後の改善計画	損益分岐点を明確にし、必要に応じて管理費等を縮減する。

# 実施計画書

事務事業No.	7-6												
事業名	墓地公園管理運営経費												
<b>事業実施計画（議会説明等も含め手順・工程を記載）</b>													
<b>R6</b>	事業費(千円)	6,271	内訳	国補助		県補助		地方債		その他	2,994	一般財源	3,277
<p>墓地公園管理運営経費については、基金からの繰入を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経常経費【6,271千円】 <ul style="list-style-type: none"> <li>内訳（主なもの） <ul style="list-style-type: none"> <li>需用費（148千円）光熱水費、修繕費等</li> <li>役務費（5千円）点検手数料</li> <li>委託料（2,679千円）管理委託等</li> <li>永代使用料還付金（3,139千円）</li> <li>管理料還付金（116千円）</li> <li>積立金（184千円）再貸付分</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>													
<b>R7</b>	事業費(千円)	6,213	内訳	国補助		県補助		地方債		その他	2,994	一般財源	3,219
<p>墓地公園管理運営経費については、基金からの繰入を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経常経費【6,213千円】 <ul style="list-style-type: none"> <li>内訳（主なもの） <ul style="list-style-type: none"> <li>需用費（148千円）光熱水費、修繕費等</li> <li>役務費（5千円）点検手数料</li> <li>委託料（2,679千円）管理委託等</li> <li>永代使用料還付金（3,139千円）</li> <li>管理料還付金（58千円）</li> <li>積立金（184千円）再貸付分</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>													
<b>R8</b>	事業費(千円)	6,215	内訳	国補助		県補助		地方債		その他	2,938	一般財源	3,277
<p>墓地公園管理運営経費については、基金からの繰入を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管理料徴収に関する経費【60千円】※5年に1度、一斉徴収を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>需用費（60千円）封筒印刷料※前年度に作成する。</li> </ul> </li> <li>・ 経常経費【6,155千円】 <ul style="list-style-type: none"> <li>内訳（主なもの） <ul style="list-style-type: none"> <li>需用費（148千円）光熱水費、修繕費等</li> <li>役務費（5千円）点検手数料</li> <li>委託料（2,679千円）管理委託等</li> <li>永代使用料還付金（3,139千円）</li> <li>管理料還付金（0千円）※管理料一斉徴収前年のため</li> <li>積立金（184千円）再貸付分</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>													
<b>R9</b>	事業費(千円)	19,285	内訳	国補助		県補助		地方債		その他	16,008	一般財源	3,277
<p>墓地公園管理運営経費については、基金からの繰入を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管理料徴収に関する経費【13,130千円】※5年に1度、一斉徴収を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>役務費（130千円）郵送料</li> <li>基金元金積立金（13,000千円）管理料徴収分</li> </ul> </li> <li>・ 経常経費【6,155千円】 <ul style="list-style-type: none"> <li>内訳（主なもの） <ul style="list-style-type: none"> <li>需用費（148千円）光熱水費、修繕費等</li> <li>役務費（5千円）点検手数料</li> <li>委託料（2,679千円）管理委託等</li> <li>永代使用料還付金（3,139千円）</li> <li>管理料還付金（0千円）※管理料一斉徴収年のため</li> <li>積立金（184千円）再貸付分</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>													

令和5年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		7-	7
事業名	塵芥処理経費	会計	款	項	目
		一般	4	2	1
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	みらい環境課		
施策	9-4 低炭素・循環型社会の形成	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	ごみの適正排出、分別の徹底を行い効率的で衛生的なごみ収集を行う。
事業内容	広域的な処理体制のもと、ごみの適正排出、分別の徹底を行い関係法令に即した効率的で衛生的な分別収集体制の中で、委託業者により一般家庭から排出される、可燃ごみ、不燃ごみ、プラスチックごみを収集する。 また、粗大ごみについては、個人が年4回、家具・布団類・金属・小型家電等回収場所の分類に分けた搬入を行ない、町で処分する。 不法投棄については、啓発車両でのパトロールを行いながら、不法投棄されたごみを発見したら回収し処分を行う。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)
	1	町民1人あたりのごみ排出量	190	190	183	kg/年	↓
2	不法投棄件数	66	38	32	件/年	↓	↓
3							
4							
5							
		令和4年度(決算)		令和5年度(決算)		令和6年度(予算)	
全体事業費(千円) A+B		262,833		288,297		297,730	
財源内訳	直接事業費 A	258,345		283,809		293,818	
	うち一般財源	223,387		261,942		269,829	
人件費(千円) B		4,488		4,488		3,912	
内訳	一般職員(人・千円)	0.68	4488	0.68	4488	0.59	3894
	臨時職員(人・千円)		0	0	0	0.01	18

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	III 要改善(少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	ごみの排出量削減や不法投棄減少のため、効果的なインセンティブの導入を検討する。	③取組の課題	ごみ収集運搬方法に課題がある。
②R5年度に実施した取り組み	一般廃棄物処理基本計画を改定した。その中において、現分別収集体制の満足度は高いことが確認できた。	④今後の改善計画	より安全なごみ収集方法を検討する。

# 実施計画書

事務事業No.	7-7									
事業名	塵芥処理経費									
<b>事業実施計画（議会説明等も含め手順・工程を記載）</b>										
<b>R6</b>	事業費(千円)	320,816	内訳	国補助	県補助	地方債	その他	23,989	一般財源	296,827
<p>一般廃棄物等の収集、運搬、処分等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 桑名広域清掃事業組合分担金【195,144千円】</li> <li>・ 一般ごみ収集運搬業務委託【53,991千円】</li> <li>・ その他経常経費【44,683千円】 <ul style="list-style-type: none"> <li>内訳（主なもの） 旅費（8千円）普通旅費            需用費（23,411千円）ごみ袋購入費、塵芥車修理費等            役務費（679千円）塵芥車車検手数料、損害保険料等            委託料（18,105千円）粗大ごみ収集委託料等            負担金補助金及び交付金（2,303千円）ごみ集積所設置等補助金            公課費（177千円）</li> </ul> </li> </ul>										
<b>R7</b>	事業費(千円)	320,683	内訳	国補助	県補助	地方債	その他	23,989	一般財源	296,694
<p>一般廃棄物等の収集、運搬、処分等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 桑名広域清掃事業組合分担金【202,000千円】</li> <li>・ 一般ごみ収集運搬業務委託【74,000千円】 <ul style="list-style-type: none"> <li>※収集方法改善に伴い、塵芥車稼働車両3→4へ。</li> </ul> </li> <li>・ その他経常経費【44,683千円】 <ul style="list-style-type: none"> <li>内訳（主なもの） 旅費（8千円）普通旅費            需用費（23,411千円）ごみ袋購入費、塵芥車修理費等            役務費（679千円）塵芥車車検手数料、損害保険料等            委託料（18,105千円）粗大ごみ収集委託料等            負担金補助金及び交付金（2,303千円）ごみ集積所設置等補助金            公課費（177千円）</li> </ul> </li> </ul>										
<b>R8</b>	事業費(千円)	326,683	内訳	国補助	県補助	地方債	その他	23,989	一般財源	302,694
<p>一般廃棄物等の収集、運搬、処分等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 桑名広域清掃事業組合分担金【208,000千円】</li> <li>・ 一般ごみ収集運搬業務委託【74,000千円】</li> <li>・ その他経常経費【44,683千円】 <ul style="list-style-type: none"> <li>内訳（主なもの） 旅費（9千円）普通旅費            需用費（23,411千円）一般消耗品、塵芥車修理費等            役務費（679千円）廃棄物処理手数料等            委託料（18,104千円）粗大ごみ収集委託料等            負担金補助金及び交付金（2,303千円）ごみ集積所設置等補助金            公課費（177千円）</li> </ul> </li> </ul>										
<b>R9</b>	事業費(千円)	302,683	内訳	国補助	県補助	地方債	その他	23,989	一般財源	278,694
<p>一般廃棄物等の収集、運搬、処分等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 桑名広域清掃事業組合分担金【184,000千円】</li> <li>・ 一般ごみ収集運搬業務委託【74,000千円】</li> <li>・ その他経常経費【44,683千円】 <ul style="list-style-type: none"> <li>内訳（主なもの） 旅費（9千円）普通旅費            需用費（23,411千円）一般消耗品、塵芥車修理費等            役務費（679千円）廃棄物処理手数料等            委託料（18,104千円）粗大ごみ収集委託料等            負担金補助金及び交付金（2,303千円）ごみ集積所設置等補助金            公課費（177千円）</li> </ul> </li> </ul>										

令和5年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		7-	8
事業名	ごみ減量・再資源化事業費	会計	款	項	目
		一般	4	2	1
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	みらい環境課		
施策	9-4 低炭素・循環型社会の形成	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	一般家庭から排出される資源ごみを分別処理し再生利用可能な資源ごみを分別回収することで、ごみの減量化・資源循環を図る。
事業内容	一般家庭から排出される再生利用可能な資源ごみを分別回収することで、ごみの減量化・資源循環を図る。 家庭から排出される資源ごみ〔缶・びん・新聞・雑誌・段ボール・雑紙・飲料用紙パック・ペットボトル・布・廃食油・小型家電〕を委託業者により分別収集し、各品目ごとに再生利用先へ搬入し処理を行っている。町内の各団体が収集した資源ごみ（紙・布）について、1kgあたり6円の補助金を交付している。 ごみの減量・分別・リサイクルへの啓発を目指し、生ごみ処理機やコンポストの購入者に対し購入補助金を交付している。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)
	1	資源ごみ回収量	1,206,699	1,143,414	1,131,503	kg/年	↓	1,161,000
2	環境に配慮した生活をしている住民の割合	-	-	-	%	↑	81	
3	3R運動をしていると答える割合	-	-	-	%	↑	68	
4								
5								
			令和4年度(決算)		令和5年度(決算)		令和6年度(予算)	
全体事業費(千円) A+B			27,445		27,756		29,687	
財源内訳	直接事業費 A		23,419		23,730		26,207	
	うち一般財源		18,341		18,295		22,219	
人件費(千円) B			4,026		4,026		3,480	
内訳	一般職員(人・千円)		0.61 4026		0.61 4026		0.5 3300	
	臨時職員(人・千円)		0		0		0.1 180	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 (事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	生ごみ堆肥化容器等購入補助金の存廃について検討する。	③取組の課題	ごみの資源化や軽量化は、まだ徹底できる余地がある。
②R5年度に実施した取り組み	一般廃棄物処理基本計画に内包する形で、食品ロス削減推進計画を策定した。生ごみ堆肥化容器等購入補助金について存続することとした。	④今後の改善計画	製品プラスチックの再資源化について実証実験を行い、コストや成果を検証する。

# 実施計画書

事務事業No.	7-8												
事業名	ごみ減量・再資源化事業												
<b>事業実施計画（議会説明等も含め手順・工程を記載）</b>													
<b>R6</b>	事業費(千円)	26,207	内訳	国補助		県補助		地方債		その他	3,988	一般財源	22,219
資源ごみや有害ごみの収集等にかかる事業  ・製品プラ再資源化実証実験費【500千円】 ・その他経常経費【25,707千円】 内訳（主なもの） 需用費（549千円） 役務費（12千円） 委託料（20,568千円） 負担金補助金及び交付金（4,578千円）													
<b>R7</b>	事業費(千円)	25,707	内訳	国補助		県補助		地方債		その他	3,988	一般財源	21,719
資源ごみや有害ごみの収集等にかかる事業  ・その他経常経費【25,707千円】 内訳（主なもの） 需用費（549千円） 役務費（12千円） 委託料（20,568千円） 負担金補助金及び交付金（4,578千円）													
<b>R8</b>	事業費(千円)	25,707	内訳	国補助		県補助		地方債		その他	3,988	一般財源	21,719
資源ごみや有害ごみの収集等にかかる事業  ・その他経常経費【25,707千円】 内訳（主なもの） 需用費（549千円） 役務費（12千円） 委託料（20,568千円） 負担金補助金及び交付金（4,578千円）													
<b>R9</b>	事業費(千円)	25,707	内訳	国補助		県補助		地方債		その他	3,988	一般財源	21,719
資源ごみや有害ごみの収集等にかかる事業  ・その他経常経費【25,707千円】 内訳（主なもの） 需用費（549千円） 役務費（12千円） 委託料（20,568千円） 負担金補助金及び交付金（4,578千円）													

令和5年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		7-	9
事業名	ごみ処理施設維持管理経費	会計	款	項	目
		一般	4	2	1
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	みらい環境課		
施策	9-4 低炭素・循環型社会の形成	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	住民がごみの適正排出、分別の徹底を行い効率的で衛生的なごみ収集を行うことができる。
事業内容	住民がごみの適正排出、分別の徹底を行ない、いつでも排出できる環境を整備し、効率的で衛生的なごみの排出を行うため、最終処分場及び、資源ごみストックヤード施設の維持管理に努める。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和4年度(決算)		令和5年度(決算)		令和6年度(予算)	
全体事業費(千円) A+B			61,101		69,895		10,066	
財源内訳	直接事業費 A		56,085		64,945		7,408	
	うち一般財源		22,619		12,187		7,408	
人件費(千円) B			5,016		4,950		2,658	
内訳	一般職員(人・千円)		0.76	5016	0.75	4950	0.4	2640
	臨時職員(人・千円)			0	0	0	0.01	18

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 (事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	再エネ導入の可能性を検討する。	③取組の課題	災害時の廃棄物置場として機能する様、再整備を検討する。
②R5年度に実施した取り組み	最終処分場再整備工事が完了した。	④今後の改善計画	施設内監視カメラを検討する。リサイクルセンターとしての機能追加や災害時進入路造成を検討する。



令和5年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		7-	10
事業名	し尿処理経費	会計	款	項	目
		一般	4	2	2
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	みらい環境課		
施策	9-5 環境衛生対策の推進	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	し尿処理にかかる桑名・員弁広域連合への分担金
事業内容	広域連携のもと、し尿や浄化槽汚泥を効率的に処理するため、その処理に伴う経費及び、施設の維持管理、運営に対する経費を分担する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)	
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
			令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(予算)				
全体事業費(千円) A+B				10,995	10,893		16,335		
財源内訳	直接事業費 A			10,731	10,629		16,053		
	うち一般財源			10,965	10,629		16,053		
人件費(千円) B				264	264		282		
内訳	一般職員(人・千円)			0.04	264	0.04	264	0.04	264
	臨時職員(人・千円)				0	0	0	0.01	18

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続(事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	環境基本計画の改定に合わせ、施策の効果をはかるのに適切な指標の設定が必要。上記指標の検討。	③取組の課題	特になし
②R5年度に実施した取り組み	一般廃棄物処理基本計画を策定した(当事業に関係するのは、生活排水処理基本計画)。	④今後の改善計画	特になし

# 実施計画書

事務事業No.	7-10												
事業名	し尿処理経費												
<b>事業実施計画（議会説明等も含め手順・工程を記載）</b>													
<b>R6</b>	事業費(千円)	16,053	内訳	国補助		県補助		地方債		その他		一般財源	16,053
し尿・浄化槽汚泥処理および合併処理浄化槽推進の事業 ・負担金補助及び交付金 【16,053千円】主に桑名・員弁広域連合衛生関係負担金													
<b>R7</b>	事業費(千円)	16,053	内訳	国補助		県補助		地方債		その他		一般財源	16,053
し尿・浄化槽汚泥処理および合併処理浄化槽推進の事業 ・負担金補助及び交付金 【16,053千円】主に桑名・員弁広域連合衛生関係負担金													
<b>R8</b>	事業費(千円)	16,053	内訳	国補助		県補助		地方債		その他		一般財源	16,053
し尿・浄化槽汚泥処理および合併処理浄化槽推進の事業 ・負担金補助及び交付金 【16,053千円】主に桑名・員弁広域連合衛生関係負担金													
<b>R9</b>	事業費(千円)	16,053	内訳	国補助		県補助		地方債		その他		一般財源	16,053
し尿・浄化槽汚泥処理および合併処理浄化槽推進の事業 ・負担金補助及び交付金 【16,053千円】主に桑名・員弁広域連合衛生関係負担金													